新見市における鉄道利用促進の

取り組みについて

2024(令和6)年3月18日

新見市

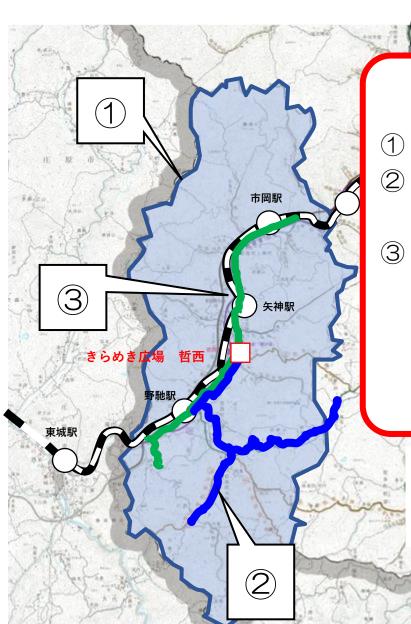
本日の発表項目

- 1 新見市における鉄道利用促進の取組
 - (1) 二次交通の改善
 - (2) 市民との協働による取組
 - (3)官民連携組織による取組
 - (4)その他の取組

1 新見市における鉄道利用促進の取組

(1) 二次交通の改善

【二次交通の改善】哲西地域芸備線利用促進事業





「哲西地域芸備線利用促進事業」

- ① 全域への予約型乗合タクシーの導入
- ② 市営バス大野部線の時刻変更

"

増便

③ 市営バス矢神線の増便



哲西地域のどこからでも、芸備線の駅へ アクセスできる交通体系を実現

- 1日あたりの利用者数は、10.45名
- 駅を目的地とする割合は、5.84%
 - ※ R5.4月~12月末時点
 - ※ 駅乗降者数:乗合タクシー利用者のうち市岡駅、 矢神駅、野馳駅で乗降した者

【二次交通の改善】神郷地域芸備線・伯備線利用促進事業



令和4年10月から実施

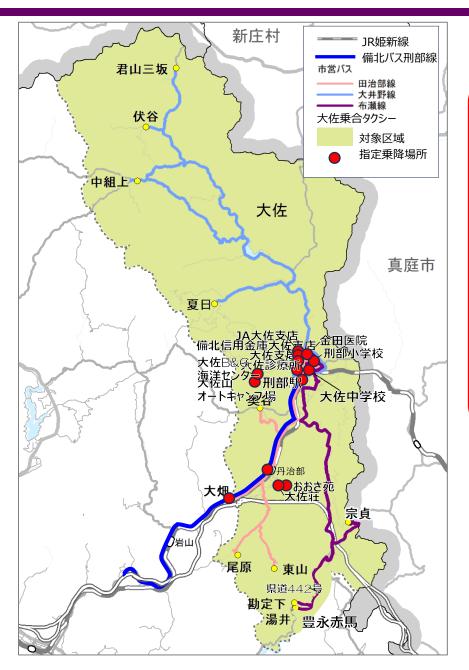
「芸備線利用促進事業」の一環として、新たに神郷地域で予約型乗合タクシー導入



神郷地域のどこからでも、芸備線・伯 備線の駅へアクセスできる交通体系を 実現

- 1日あたりの利用者数は、11.86名
- 駅を目的地とする割合は、6.29%
 - ※ R5.4月~12月末時点
 - ※ 駅乗降者数:乗合タクシー利用者のうち備中神代駅、 足立駅、新郷駅、坂根駅で乗降した者

【二次交通の改善】大佐地域姫新線利用促進事業



令和5年11月から実施

「鉄道利用促進事業」の一環として、 新たに大佐地域で予約型乗合タク シー導入

大佐地域のどこからでも、姫新線の駅 ヘアクセスできる交通体系を実現

- 1日あたりの利用者数は、5.56名
- 駅を目的地とする割合は、7.12%
 - ※ R5.11月~12月末時点
 - ※ 駅乗降者数:乗合タクシー利用者のうち田治部駅、 刑部駅で乗降した者

1 新見市における鉄道利用促進の取組

(2) 市民との協働による取組

【市民との協働による取組】新見市公募型鉄道利用促進事業

新見市公募型鉄道利用促進事業は、「民間」の柔軟な発想や専門性と「行政」が 持つノウハウなど、互いの知恵と力を合わせ、市民と協働による鉄道の利用促進を 図るため、市民団体等が自ら企画、実施する事業を公募し、提案団体ヘモデル的に 委託して実施するもので、令和5年度新規事業として実施。

〇令和5年度は、1件の応募があり、これを採択。



12:00~17:00

※本事業は、令和5年度新見市公募型鉄道利用促進事業の様似を受け実施しています

1日(木)~6日(大) 10:00~17:00

R6年2月10日(土)~2月18日(日) 10日(土) 11日(日),12日(月) 9:00~19:00 13日(大) 14日(水)~17日 18H(H)

R6年1月31日(水)~2月7日(水) 会期

「鉄旅の魅力発信プロジェクト写真展」

新見市公募型鉄道利用促進事業に採択された 『鉄旅の魅力発信プロジェクト写真展』を「写真 で新見を繋げる会」が倉敷物語館、まなび広場に いみで実施。

県内外の観光客に対して新見市及び周辺地域へ の鉄道を使った旅行(鉄旅)の魅力を伝えること を目的に、新見市内で各路線の沿線にある魅力的 なスポットで撮影を行い、鉄道を利用したくなる ような写真を展示した。

倉敷物語館では8日間で853名の来場があった。

【市民との協働による取組】新見市公募型鉄道利用促進事業









1 新見市における鉄道利用促進の取組

(3)官民連携組織による取組

官民連携組織の概要

名 称:新見市鉄道利用促進協議会

設置日:令和3年9月30日

目 的:新見市を発着とした鉄道利用を促進し、もって地域の振興に資する

ことを目的とする

構 成:新見商工会議所、阿哲商工会、新見市観光協会、西日本旅客鉄道株

式会社、岡山県、新見市 (委員:9人 オブザーバ:2人)

■開催実績

令和3年度 2回

令和4年度 3回

令和5年度 3回



芸備線・姫新線利用促進事業 「運賃の一部を『にーみんポイント』で還元します!」

旅行等でJR芸備線・姫新線を利用した方を対象に、運賃の一部を補助することで鉄道利用機会の増加と鉄道路線維持に対する意識向上を図る。



- ■応募期間 令和5年7月20日~令和5年9月30日
- ■運賃補助率運賃の1/2※10円未満の端数は切り捨て
- ■申請状況

申請件数 34件

乗車回数 80回

還元ポイント 32,040円分

→ 広島駅まで利用されている方もおり、普段 とは違った鉄道利用機会の増加となった。

「JR芸備線・姫新線に乗って応援キャンペーン」 乗降スタンプを集めて素敵な賞品をGETしよう!

新見駅発着の芸備線・姫新線を利用し、その際に新見駅窓口でスタンプカードにスタンプを押してもらい、複数回利用を促すことで定期的な鉄道利用の機運醸成を図る。



- ■応募期間 令和5年7月20日~令和5年9月30日
- ■商品(スタンプ個数別)

10個 2名 千屋牛20,000円相当5個 5名 特産品詰め合わせ 10,000円相当

3個 15名 にーみんグッズ 3,000円相当

■応募状況

応募総数 10名

→ 今回は芸備線・姫新線の利用に絞ったこともあり、定期的な利用の増加とまでは行かなかったが、中には10回以上利用された方もおり定期的な利用がうかがえた。

3人グループを作って鉄道に乗ろう!

新見駅発着の鉄道を利用した方を対象に、新見駅にて乗降証明書を配布し、3枚集めて応募してもらう事業を実施。

グループの連帯した取組にすることで、普段鉄道を利用していない人が利用する きっかけをつくり、利用者の増加と鉄道利用の機運醸成を図る。



■応募期間 令和5年7月20日~令和5年9月30日

■賞

A賞 1 組 新見市特産品30,000円相当B賞 2 組リ15,000円相当C賞 5 組 限定クオカード9,000円相当D賞 1 0組 おたのしみ3,000円相当

■応募状況

応募総数 22組(延べ66人)

→ 市外や県外からの応募も多数あり、地域内 外の方々に、芸備線をはじめ鉄道を利用し てもらえる機会となった。

新見駅開業95周年記念事業





鉄道の日の10月14日に新見駅開業95周年を記念して新見駅で写真展を開催した。

写真展では開業当時の風景や年代毎の駅や 列車の様子をとらえた約30点を特設スペースや駅構内に展示。

また、乗降客などに「にーみん」が記念缶 バッジを配布し、新見駅の開業95周年をPR するとともに、鉄道利用を呼びかけた。

→来場者から好評。 開業当時の写真は 中々見ることができない等の声をいただ いた。



芸備線(広島-備後庄原間)開業100周年記念イベント



備後庄原駅において100周年イベントとして10月21日に第22回庄原駅前フェスタが開催された。

臨時記念列車のノスタルジー号や演歌歌手であり撮り鉄としても有名な徳永ゆうき氏のコンサートなどが実施され、芸備線の利用促進PRを行った。





【カレンダー作成・配布】新見市内3路線2024年カレンダー

新見市内3路線2024年カレンダーを作成するにあたり、鉄道の魅力を伝える写真・イラストを募集し、撮影・作成により鉄道に触れる機会を創るとともに、作成したカレンダーを配布することによって、鉄道利用促進の機運醸成を図った。



- 内容
- 新見市鉄道利用促進協議会では、2024年カレンダーを作成するにあたり、掲載する写真・イラストを募集します。
- * テーマ *]

鉄道を利用したくなるような魅力を伝える写真・イラスト

- 募集期間
- 令和5年2月13日(月)~令和5年9月29日(金)



※詳細については、裏面をご確認ください。

主催 新見市鉄道利用促進協議会

- 配布部数 500部
- 配布場所 交通対策課、新見市観光協会



→市内外から多数の問い合わせがあり、配布開始から2週間ほどで配布終了となった。 イベント用に200部増刷。 多くの方に鉄道の魅力を伝えることができた。

Urara(うらら)歓迎イベント



JR西日本が2023年7月から導入した Uraraが新見駅まで運行区間を拡大した ことに伴い、新見列車区構内でそのお披露目 を兼ねた車両見学会がJR西日本新見地区連絡 会主催で開催された。

協議会としてカレンダー、缶バッチを配布し利用促進PRを行った。

→ 姫路、大阪、東京からきた方もおり、こ ういった車両を撮影できる機会の人気がうか がえれた。





【ひな祭り事業】に一みんと芸備線に乗ってみよう!!の実施

普段鉄道を利用する機会が少ない人たちにローカル線を利用してもらい、鉄道に乗車するきっかけとしてもらうことを目的に実施、鉄道利用促進の機運醸成を図った。



参加者 71名(行き45名、帰り26名)





→中には午前に勝山のひな祭りに行った際にイベントを知り、姫新線で乗り継いできたといった方もおられた。

また、初めて電車に乗るお子様もおり鉄道へ 乗車するきっかけとなった。 1 新見市における鉄道利用促進の取組

(4)その他の取組

【ICOCAの活用】新見市オリジナルICOCAの導入

令和4年10月24日(月)から利用開始

新見市在住の希望者に、「新見市オリジナル I COCA」を配布 24,000枚(令和6年1月末時点)

「新見市オリジナルICOCA」は、市内の加盟店(約100店舗)のみで利用できる地域ポイント「にーみんポイント」と、全国のJRやICOCAマークのある店舗などで利用できる「ICOCA電子マネー」の2種類の決済が可能。

地域におけるキャッシュレス化と地域活性化を推進。

→令和6年2月13日から市街地循環 バスでも利用可能。



令和5年度に実施したその他の事業

■新見市鉄道利用促進協議会の実施事業

小中学生利用促進事業

・校外学習等で市内駅発着の鉄道を利用した場合に運賃の一部を助成

■新見市の実施事業

高校生通学費助成事業

・市内の高等学校へ公共交通機関を利用して通学している生徒の通学定期券購入費を助成。通学定期券購入金額の2分の1

ノーマイカーデーの実施

・自動車で通勤している職員を対象に、JRをはじめ とした公共交通機関の利用促進及び温室効果ガスの 排出削減を主な目的とし、毎月最終金曜日に実施

新見駅周辺まちづくり

新見駅周辺まちづくり基本方針と基本構想に基づき、 駅周辺のまちづくりを進める

新見駅前駐車場 • 駐輪場再整備

- ・JR利用による通勤・通学者が増加していることから新見駅前駐車場・駐輪場の再整備を実施
- ・ICOCAに対応できるよう精算機を更新